

グローバルプロダクトビジネス -Global Product Business-

金融・流通・公共分野で培ったノウハウをグローバルに展開するとともに、サプライチェーン全体を通して、環境に配慮した取り組みを行っています。

「第9期環境行動計画」への取り組み

エネルギー／資源効率向上の追求

製品使用時のエネルギー効率を向上させることで、GHG（温室効果ガス）排出量の削減を図っています。また、これまでも3R設計などで省資源化技術を展開してきましたが、さらなる小型・軽量・省スペース化など資源効率の向上により、環境負荷低減に取り組んでいます。

製品紹介

金融機関向け窓口業務用端末 UBT-SP FC400



金融機関向け窓口業務用端末全体をコントロールする制御装置です。豊富な外部接続インターフェースを備え多数の周辺機器との接続を可能にしています。また、最新アーキテクチャを採用し、かつ放熱構造最適化設計により冷却ファン数を削減し、消費電力を抑えつつ、プリント板のワンボード化・内部ケーブルの廃止を追求し、部品点数を削減することにより、シリーズトップレベルの小型・軽量化を実現しています。

貢献するSDGsのゴール

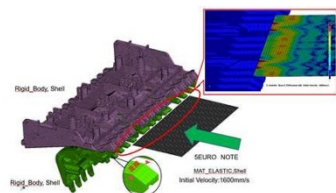


貢献する要素

Goal 9：環境配慮技術拡大と資源利用効率向上。

Goal 12：資源の持続可能な管理および効率的利用。

シミュレーション



<シミュレーション例>

製品を開発する上で、多くのシミュレーションを実施しています。メカトロニクス製品では、メカニズム、エレクトロニクス（電気回路）、ソフトウェア、ファームウェアの各領域を適切に協調させる必要があり、その分界点が複雑ですが、各領域結合テストまでに不具合を検出するために各シミュレーションを実施し、開発期間の短縮や品質向上につなげています。

グリーン調達

富士通グループでは、環境に配慮した部品・材料や製品の調達に関する基本的な考え方を「富士通グループグリーン調達基準」としてまとめ、国内外のお取引先とともにグリーン調達活動を推進しています。

含有化学物質管理システムの構築

製品の部材系調達にかかわるお取引先には、化学物質を適正に管理していただくため、JAMP*1が業界標準として定める「製品含有化学物質管理ガイドライン」に基づく含有化学物質管理システム（CMS*2）の構築をお願いし、サプライチェーンにおける製品含有化学物質の管理を強化しています。

*1：JAMP／ア－ティクルマネジメント推進協会（Joint Article Management Promotion-consortium）

*2：CMS／製品含有化学物質管理システム（Chemical substances Management System）

含有化学物質情報の入手

法規制を順守し含有規制物質による人の健康への悪影響や、環境汚染を未然に防止することを目的に、お取引先のご協力のもと、JAMPが運用する情報伝達スキームchemSHERPA*3などにより製品の含有化学物質情報を調査し、入手した情報を社内システムにて共有しています。

*3：chemSHERPA－製品含有化学物質情報伝達の共通スキーム

（Chemical information Sharing and Exchange under Reporting Partnership in supply chain）

お取引先とのコミュニケーション

当社では毎年、お取引先懇親会を開催しています。

懇親会では、調達環境の変化と調達方針および、これからの目標を説明しています。

また、当社の事業活動に対し、顕著な貢献をされたお取引先に対して感謝状を贈呈し、パートナーシップの強化に努めています。

